

認定プログラムの名称	JCSS（国際 MRA 対応）
認定識別	JCSS 0300 Calibration
認定された適合性評価機関の名称	八洲貿易株式会社 キャリブレーションセンター
法人の名称	八洲貿易株式会社 法人番号 7010401029804
問い合わせ窓口	キャリブレーションセンター TEL : 086-455-7011 FAX : 086-455-7050



20250326評基第005号
2025年9月10日

認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認 定 識 別: JCSS 0300 Calibration

適合性評価機関の名称: 八洲貿易株式会社
キャリブレーションセンター

法 人 の 名 称: 八洲貿易株式会社

適合性評価機関の所在地: 岡山県倉敷市東塚六丁目7番31号

認 定 範 囲: 温度、圧力（詳細は別紙のとおり）

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書（JCSS 認定）に記載した
認定要求事項

認 定 発 効 日: 2023 年 8 月 25 日

認定の有効期限: 2027 年 8 月 24 日

初回認定発効日: 2013 年 2 月 7 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 石毛 浩美

- ・ IAJapan(独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター)は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及び APAC(アジア太平洋認定協力機構)のMRA(相互承認取決め)に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準(該当する国際規格)適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びにMRA対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項(方針)を指します。
- ・ この事業者はISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです(2017年4月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

登録（認定）に係る区分：温度

法律に基づく初回登録年月日：2013 年 2 月 7 日

国際 MRA 対応初回認定発効日：2013 年 2 月 7 日

校正手法の区分の呼称 [登録更新（認定発効）年月日]：接触式温度計 [2023 年 8 月 25 日] (*) [2025 年 9 月 10 日]

恒久的施設で行う校正／現地校正の別：恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の 区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)
接触式温度計	温度計校正装置 (金属ブロック式)	-100 °C 以上 -80 °C 未満	0.15 °C(*)
		-80 °C 以上 -45 °C 未満(*)	0.15 °C
		-45 °C 以上 155 °C 以下(*)	0.05 °C
		155 °C 超 350 °C 以下	0.20 °C(*)
		350 °C 超 660 °C 以下	0.20 °C(*)
		660 °C 超 1200 °C 以下	3.5 °C
	温度計校正装置 (オイルバス式) (*)	-30 °C 以上 165 °C 以下	0.04 °C
	指示計器付温度計	-100 °C 以上 -80 °C 未満	0.15 °C(*)
		-80 °C 以上 -30 °C 未満	0.15 °C(*)
		-30 °C 以上 200 °C 以下(*)	0.03 °C
		200 °C 超 400 °C 以下(*)	0.20 °C
		400 °C 超 600 °C 以下	0.20 °C(*)
		600 °C 超 650 °C 以下	0.20 °C(*)

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録（認定）に係る区分：圧力

法律に基づく初回登録年月日：2024 年 1 月 26 日

国際 MRA 対応初回認定発効日：2024 年 1 月 26 日

校正手法の区分の呼称 [登録（認定発効）年月日]：圧力計 [2024 年 1 月 26 日]

恒久的施設で行う校正／現地校正の別：恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の 区分の呼称#	種類	校正範囲			拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)
圧力計	圧力計 (デジタル 圧力計)	気体	ゲージ 圧力	-100 kPa 以上 -5 kPa 以下	0.10 kPa
				5 kPa 以上 200 kPa 以下	0.10 kPa
				200 kPa 超 700 kPa 以下	0.25 kPa
				700 kPa 超 2000 kPa 以下	0.50 kPa

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。